

警城毎日新聞

創刊日 昭和六年十月一日
社址 警城毎日新聞社
電話 二二二二
代印 警城毎日新聞社

生花する心

池坊生

私は市内の二花生けである。戦時下生産補充の折衝一部に人理解出来ぬ仕事も知れぬ。いや實際理解出来ぬ仕事をしてゐる花生けの多いの否めない。花生けの人の多くは私利私慾に走り、社中擴張のみを狂奔して深く

郷土研究

岩崎敏夫

現代文化日本の精華として先般朝日文化賞を受けた人々の中で、特に私に喜ばれた眼を見張らせた方が二人ある。一人は和氣清彦公侯を造つた同じわが町の出身佐藤清藏氏である。一人はわが郷土の生みの親御田田氏である。同じく恩師御田田折口博士の御田田先生は、全国的に有名な郷土研究家である。御田田先生の遺稿の祝賀記念日本民俗学講習會は昭和十年のことであり、先生がわが警城民俗研究會のために平市へ見送られてから、すでに三年の月日は流れた。我々の仕事もそれだけ目算がついた筈なのに、實際はこれからのいふ氣が何時もする。常に郷土に愛する人は無数にあるのに、まことに郷土研究といふものが、警城には未だ確立されて居ない。僅かに歴史の部門だけは開かれて居るがこれだけでは心細い。目より心に入るもの、此等すべてに資料を仰ぎたい。行きずりの旅人にも研究の出来ること

大空

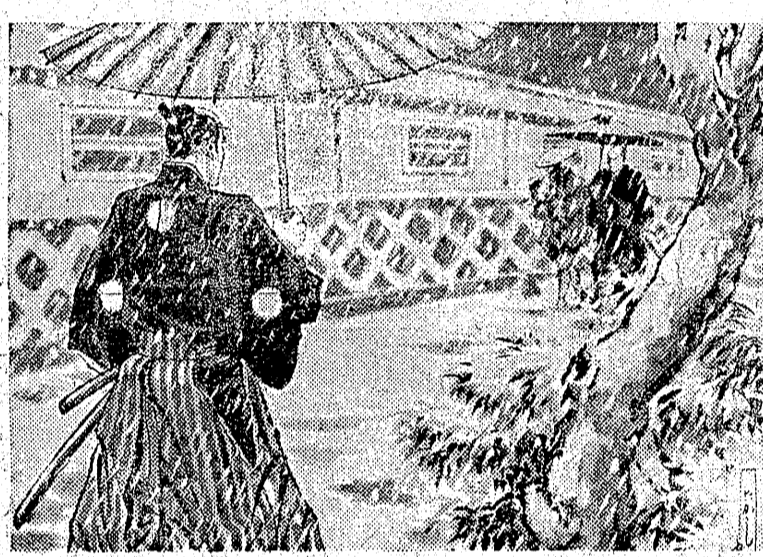
住谷芳太郎

大空は、若人の唯一の友達だ。青く澄み渡る大空を眺めてゐると、希望が、泉の如く湧き上つて来る。

異説赤穂浪士

桃川若燕 城木喬

雪の十四日、大石は待合に打ちあつてゐる。この物語は致し方なく、何卒致す者もあらうに依り、何卒間の機を御立切り下さい。用事ござれば何方より御願ひに罷り出でます。



兵の武士が六の顔を見ると、それと申分がある前に立寄る。待て、其處へ来るは淺野内匠頭手領の犬であらう。コノ待て申すに待たぬか。コノ上野介に立止る内蔵の助の袂を耳で聞かぬやうに相成つたか。其方は武士の風上にも無難な奴だ。知らば江戸府内士を御願ひす。汝如き大石が江戸を横行すれば、内匠頭の名前を汚すやうな事、臨んで嘆を吐きかけた。

配達員募集

高等科生乃至中等校の生徒
数名、優遇す

警城毎日新聞社

久保田醫院

婦人科 産科
小名濱町 電話三番

小野輪船

各種自轉車
販賣修繕
小名濱町四〇

周旋開業

水戸料理店にて御飯に預りました若美家此程周旋業に精進致しました故宜しく御願ひ致します

美家

四合町 電話一七五

生スツボン

一生血・生膳

岡崎スツボン店

平市六丁目本通り
電話三〇七番

資生堂

お宅の体温計は正確ですか？
毎月十日は無料にて体温計を検査して差上げます、どうぞ御遠慮なく持して下さい。

北村芳藏

土木建築 三崎組 太田勝康
建築設計主任 小名濱町日赤前
電話五〇番

和洋問屋

質を高く 値を低く

平産婆看護婦学校

新体制下の女性に
産婆看護婦をお奨め致します

木村醫院

内科 外科 婦人科
平市町（警察署角）
電話三〇九番

松村醫院

外科 整形 胃腸 性病
町南市平
七〇一電

石井醫院

外科（内臓、整形）
皮膚科
小名濱町 電話一八

坂本醫院

外科 一般
石城郡草野村
電話三七番

